

生理は“個人の問題”ではないー 女子大生がフェムテック企業と挑む。 教育・スポーツ・福祉から社会提言を行います

椋山女学園大学（愛知県名古屋市、学長：黒田由彦）人間関係学部（人間共生学科・心理学科）では、専門教育科目「ケースメソッドⅠ」において、フェムテック企業・ゴムノイナキ株式会社（愛知県名古屋市、代表取締役：稲木裕）と連携し、「生理と女性をめぐる社会課題とニーズ」をテーマとした実践的な授業を展開しています。本授業では、「教育」「スポーツ」「福祉」の観点から生理を捉え直し、学生自らが社会に向けた解決策を提言します。

■授業の概要

女性の社会進出と活躍が進む中で、月経、妊娠、更年期といった女性特有の身体課題が社会問題として顕在化しています。こうした課題に対し、テクノロジーで解決を目指すフェムテック企業との対話を通して理解を深め、女性の健康や生理に対して正しく理解・共有し、助け合うことが当たり前となる社会の実現に向けて必要なアクションを考察・提言を行います。

具体的なテーマ：学校教育における性教育・生理教育をめぐる課題

女性アスリートの生理とスポーツ参加への影響への影響

生理の貧困が女性の well-being に及ぼす影響

対象：人間関係学部（人間共生学科・心理学科）3年生 12名

場所：椋山女学園大学日進キャンパス 2号棟 301 講義室（愛知県日進市竹の山3丁目2005番地）

※第11回・第14回はゴムノイナキ株式会社本社（名古屋市中区上前津二丁目8番1号）で実施

■授業の進め方と特色

教育、スポーツ、福祉の専門教員による指導と、フェムテック企業との対話を通じ、事例分析やグループディスカッション、小レポートを重ねながら学修を進めます。第11回には学外フィールドワークとしてフェムテック企業を訪問し、第14回（最終回）では企業の関係者に向けてプレゼンテーションを行い、生理に関する社会課題について教育・スポーツ・福祉の視点からフェムテックの可能性について発表を行います。

【授業計画】

- （第1回） 4月6日（月）オリエンテーション
- （第2回） 4月13日（月）スポーツ×生理①ケース検討
- （第3回） 4月20日（月）スポーツ×生理②グループディスカッション
- （第4回） 4月27日（月）学校における生理に関する教育①ケース検討
- （第5回） 5月11日（月）教育×生理②グループディスカッション
- （第6回） 5月18日（月）教育×生理③まとめ
- （第7回） 5月25日（月）福祉×生理①ケース検討

NEWS RELEASE

- (第8回) 6月8日(月) 福祉×生理②グループで製作・実践
- (第9回) 6月15日(月) 学外フィールドワークの準備：フェムテック企業 理念・方針の理解
- (第10回) 6月22日(月) 学外フィールドワークの準備：フェムテック商品・サービスの理解
- (第11回) 6月29日(月) 学外フィールドワーク：フェムテック企業（ゴムノイナキ）
- (第12回) 7月6日(月) プレゼンテーション準備
- (第13回) 7月13日(月) プレゼンテーション準備
- (第14回) 7月27日(月) プレゼンテーション@フェムテック企業（ゴムノイナキ）

※授業はどの回もご取材いただけますが、計画に変更が生じる可能性もありますので、事前にご連絡をお願いいたします。

【本件に関するお問合せ先】

梶山女学園広報課（担当：中島、渡部）

TEL：052-781-5940 メールアドレス：kouhou@sugiyama-u.ac.jp